

シー・ビー A-491S 使用説明書

シー・ビー A-491Sはフェノールを含有しない2層に分離したアルカリ性カーボン汚れ除去剤で、加温浸漬法で使用します。

特徴

- ・エナメル、ニス、ラッカー、カーボンやゴムの堆積物の除去に有効です。
- ・ジクロロメートプライマー除去に優れています。
- ・本製品は処理液の蒸発を防ぐため、オイルシールが含有されています。
- ・高強度鋼、ステンレス鋼、軟鋼、アルミニウム、マグネシウム、銅等、航空機を構成する一般的な金属に安全に使用できます。
- ・本製品には、大気汚染を引き起こす光分解反応溶剤を含有していません。
- ・製品には、有害なフェノール、シアン化物、重金属塩は含まれていません。

組成及び性状

シー・ビー A-491Sはアルカリ性の液体カーボン除去剤です。

外 観	:	2層に分離した無色～褐色透明液体
下層液のpH	:	約13～14(at 25℃)
下層液の比重	:	約1.05(at 25℃)
引火点	:	上層(オイルシール)…200℃以上、下層…104℃(COCによる)

適合規格

- ・AMS
 - AMS 1385
- ・Boeing
 - D6-17487 Rev. T (Partial Testing)
- ・Messier-Bugatti-Dowty
 - SPM 32-09-01
- ・Military
 - MIL-PRF-83936C

使用方法

加温浸漬法

- (1) シー・ビー A-491Sは、原液で80℃～104℃に加温して使用します。
尚、強固な炭化堆積物を除去は、温度を昇温させると効果的であり、102℃が最適な温度です。
- (2) ワークを薬剤に浸漬させます。尚、必ず下層液に浸漬してください。
- (3) 浸漬時間は塗膜の種類や堆積物の厚みによって異なりますが、数分～数時間です。
- (4) またワーク対象面を軽くブラッシングすると効果的です。
- (5) 付着物の除去が完了したら、ワークに付着している過剰な薬剤をタンク上で液切りします。
- (6) タンクから離れた場所*で、ワークを高圧スプレー水洗して下さい。

【※注意】

- ・シー・ビー A-491Sに浸漬する前に、ワークを必ず乾燥させて下さい。
- ・スプレー水洗の際は、タンク槽から離れた場所で行って下さい。
- ・シー・ビーA-491Sに水が混入すると、アルミニウム材を腐食しますので、注意して下さい。

管理方法

シー・ビー A-491Sの処理液は、以下の項目を管理します。

- (1) 滴定によるアルカリ度測定(下層液)……………アルカリ度変化による性能劣化の防止
- (2) オイルシールの測定(上層液)……………下層液の揮発による液ロス防止
詳細は管理仕様書をご参照ください。

適用を受ける主な法規制

消防法

下層液	危険物第4類引火性液体、第3石油類	水溶性
上層液(オイルシール層)	危険物第4類、第4石油類、非水溶性	

水質汚濁防止法

- (1) pH (2) COD (3) BOD (4) 浮遊物質(主に除去された汚れ等)
- (5) ノルマルヘキサン抽出物質(主に除去された油類)

尚、処理液の廃棄処置については廃棄物専門業者にご相談下さい。

注意事項

シー・ビー A-491Sは、工業薬品です。

使用前に安全データシート(SDS)を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

荷姿

18kg アトロン缶、200kg アトロンドラム

以上